

## ≡≡≡ 特許紹介 ≡≡≡

### 蓋体の開閉機構

特許 4258175

発明者 近藤浩史，小倉光雄

[ 発明の属する技術分野 ]

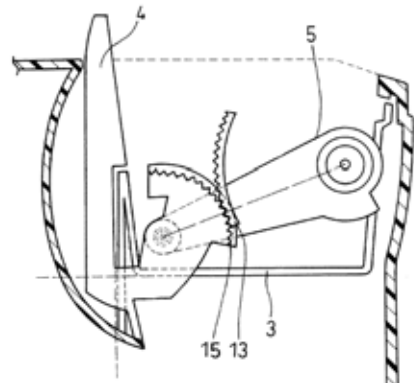
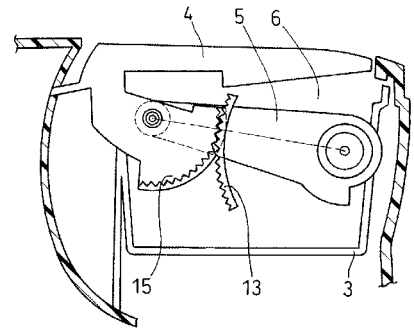
本発明は，開口が蓋体により開閉される機構に関する。

[ 発明の概要 ]

本体 3 の開口 6 を開閉する蓋体 4 は，一端が本体 3 に枢支された連結部 5 の他端に枢支されるとともに，本体 3 の側面に固定されたラック 13 と係合するピニオン 15 を有し，これにより蓋体 4 と連結部 5 を同期させて揺動させることを特徴とする。

[ 発明の効果 ]

蓋体 4 の揺動軌跡を小さく，滑らかにできるとともに，部品点数を削減することができる。



### ウエザーストリップ

特許 4029603

発明者 野崎政博，久保嘉久，井上知則

[ 発明の属する技術分野 ]

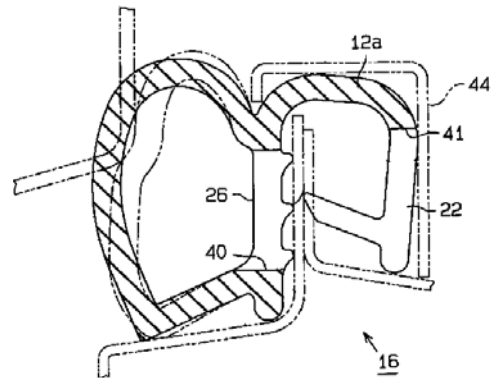
本発明は，車両等のドア開口部の周縁に装着されるウエザーストリップに関する。

[ 発明の概要 ]

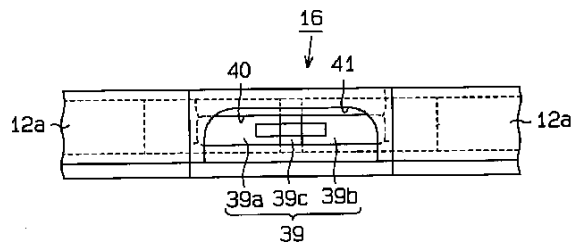
型成形の接続部 16 におけるトリム部 12a の一方の側壁部 26 に中空シール部からコア金型 39 を抜き取る開口 40 を形成し，他方の側壁部 22 には開口 40 に対向する切欠き部 41 を形成し，カバー 44 を装着することでトリム部 12a を覆うことを特徴とする。

[ 発明の効果 ]

- 1) コア抜き取りの開口に起因するシール性能の低下を抑制するとともに，装着状態における見栄えを良好に保つことができる。
- 2) コア抜き取り作業性を大幅に向上することができる。



接続部断面図



接続部平面図

## 樹脂タンク用パイプ継手

特許 3922542

発明者 安藤正浩, 小林義孝, 青木智英

### [発明の属する技術分野]

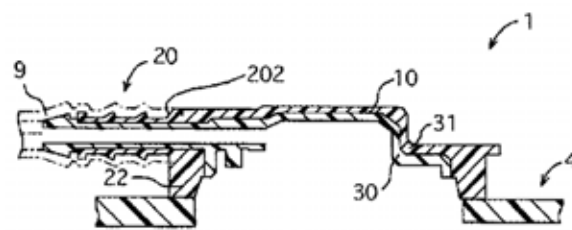
本発明は、樹脂タンクと他の部材とを連結する樹脂タンク用パイプ継手に関する。

### [発明の概要]

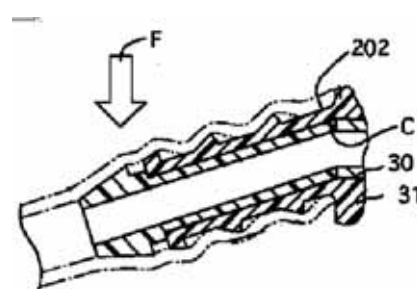
樹脂タンク 4 に溶着部 22 を介して溶着されるパイプ継手 1 は、耐燃料性樹脂 (PA 又は EVOH) からなる内周層 30 と、比重 0.94 以下の変性ポリエチレンからなる外周層 31 と、を含んで形成される管壁 10 を有する。ホース 9 に圧入されるニップル部 20 に衝撃力集中段差部 202 を形成するとともに、その部分における外周層 31 の肉厚を 0.5mm 以上としたことを特徴とする。

### [発明の効果]

衝撃 (F) が加わって内周層が破断 (C) しても、衝撃力集中部 202 の外周層 31 は伸長するだけであり破断しない。このため、耐衝撃性が高い樹脂タンク用パイプ継手を提供することができる。



断面図



拡大断面図

## 吸気ダクト及びその製造方法

特許 3835117

発明者 木野等, 小笠原豊, 伊藤伸二

### [発明の属する技術分野]

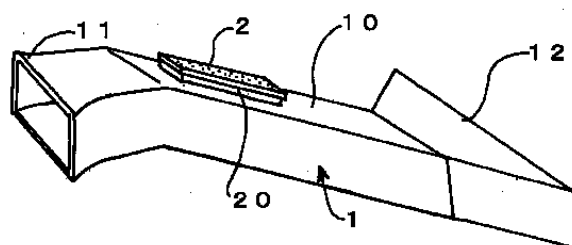
本発明は、エンジンへ空気を供給する通路としての吸気ダクトに関する。

### [発明の概要]

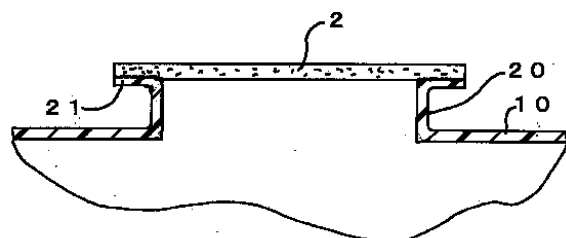
吸気ダクト 1 は入口端部 11 と出口端部 12 を有する樹脂製の大筒部 10 の一部の管壁から外方へ突出して大筒部 10 の内外を連通する小筒部 20 からなるダクト本体 1 と、小筒部 20 の開口を覆う多孔質部材 2 からなる。小筒部 20 の先端に形成したフランジ部 21 と大筒部 10 の間に受け治具 (図示しない) を挿入して、多孔質部材 2 の周縁をフランジ部 21 に熱溶着したことを特徴とする。

### [発明の効果]

- 1) 吸気圧損の増大を抑制しつつ吸気騒音を低減することができる。
- 2) 少ない工数で容易に製造でき、かつ高い溶着強度で不織布などの多孔質部材を溶着することができる。
- 3) 不織布などの使用量が削減できる。



斜視図



要部断面図

## エアバッグ装置

特許 3915533

発明者 山本直，飯田仁，横山博久，山田正

[ 発明の属する技術分野 ]

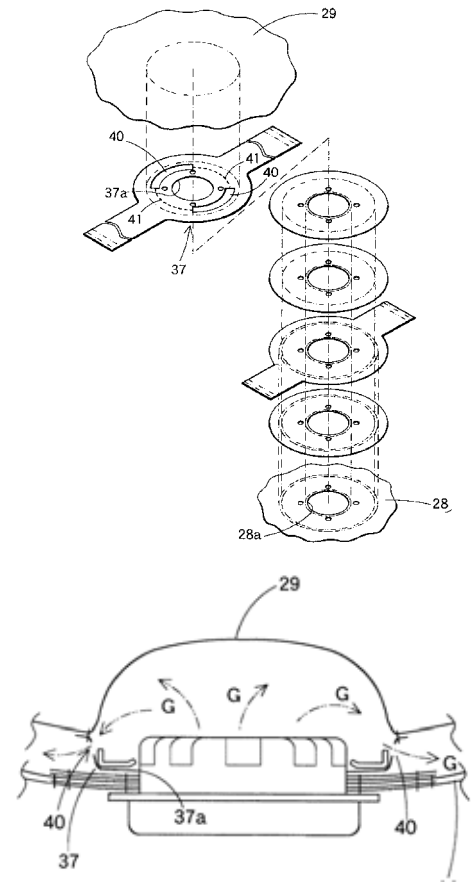
本発明は，折り畳まれて収納され，展開膨張するエアバッグ装置に関する．

[ 発明の概要 ]

エアバッグ内部に，開口37a周縁が車体側布28のガス流入口28a周縁に結合され，更にその周囲が乗員側布29に結合された整流布29を設け，両結合間の整流布29にガス流出口40と破断予定部41を配設したことを特徴とする．

[ 発明の効果 ]

エアバッグの膨張初期においては，整流布29によりガスGの流れが規制され，ガス流れ方向に素早く膨張する．その後，破断予定部41が破断し，ガスGの流れ規制が解除されるので，エアバッグは早期に完全膨張に達することができる．



## GaN系化合物半導体発光素子及びその製造方法

特許 3309745

発明者 上村俊也，柴田直樹，野杵静代，村上正紀，小出康夫

[ 発明の属する技術分野 ]

本発明は， GaN系化合物半導体発光素子に対するp型層上の透光性かつオーミック特性に優れた電極材料及びその電極の形成方法に関する．

[ 発明の概要 ]

GaN系化合物半導体層（ 2：n型層， 3：発光層， 4：p型層）を有する発光素子1におけるp型層4の電極5として，コバルト(Co)合金から成り，透光性並びにオーミック特性を有する金属層を有することを特徴とする．

[ 発明の効果 ]

- 1) コバルト(Co)は仕事関数大きい元素であるので，良好なオーミック特性が得られる．
- 2) コバルト(Co)を含む電極を構成する元素が酸化しにくいので，電極の酸化による発光パターンの経時変化が防止でき，安定した発光パターンと駆動電圧を維持することができる．

